

仕様 測定方法		MELSEC-AnSシリーズ				MELSEC-Qシリーズ
		A1S62RD3	A1S62RD4	A1S62RD3N	A1S62RD4N	Q64RD
形名						
測定方法		3線式	4線式	3線式	4線式	3線式/4線式
使用可能白金測温抵抗体		Pt100 (JIS C 1604-1989、 DIN 43760-1980) JPt100 (JIS C 1604-1981)		Pt100 (JIS C 1604-1989、DIN 43760-1980、 JIS C 1604-1997、IEC 751-am2) JPt100 (JIS C 1604-1981)		Pt100 (JIS C 1604-1997、IEC 751 1983) JPt100 (JIS C 1604-1981)
温度検出用出力電流		4.2mA (MIN) 4.7mA (MAX)		1mA		1mA
測定温度範囲	Pt100	-180~600℃				-200~850℃
	JPt100	-180~600℃				-180~600℃
レンジ切換え	Pt100	-				-20~120℃/-200~850℃
	JPt100	-				-20~120℃/-180~600℃
出力(温度変換値)		16ビット符号付バイナリ (-1800~6000:小数点以下第1位までの値×10) 32ビット符号付バイナリ (-180000~600000:小数点以下第3位までの値×1000)				16ビット符号付バイナリ (-2000~8500:小数点以下第1位までの値×10) 32ビット符号付バイナリ (-200000~850000:小数点以下第3位までの値×1000)
精度		±1% (フルスケールに対する精度)				周囲温度0~55℃:±0.25%(最大値(※1)に対する精度) 周囲温度25±5℃:±0.08%(最大値(※1)に対する精度)
分解能		0.025℃				
変換速度		40ms/1チャンネル				
温度入力点数		2チャンネル/1ユニット				4チャンネル/1ユニット
断線検出		チャンネルごと 検出	全チャンネル 一括検出	チャンネルごと 検出	全チャンネル 一括検出	チャンネルごと検出
絶縁 方式	白金測温抵抗体入カーシーケンス電源間	フォトカプラ絶縁				
	白金測温抵抗体入カーチャンネル間	非絶縁				
入出力占有点数		32点				16点
接続方式		20点端子台				18点端子台
内部消費電流(DC5V)		0.54A	0.44A	0.49A	0.39A	0.60A

※1:設定されたレンジの最大値

(注)4. は、MELSEC-Qシリーズのユニット仕様が接続する機器、設備の仕様を満たすことを確認してください。

5.仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

尚、MELSEC-AnSシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置き換える上で仕様の制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。

●プログラム上の注意

A1S62RD3/A1S62RD4/A1S62RD3N/A1S62RD4NとQ64RDでは、入出力信号(X、Y)およびバッファメモリアドレスの割付けが異なるため、シーケンスプログラムの変更が必要です。

ポイント

使用可能白金測温抵抗体の準拠基準が異なりますので、Q64RDで使用可能な白金測温抵抗体に変更してください。

MELSEC-AnSシリーズ ユニット	白金測温抵抗体		
	Q64RDにて使用可能	Q64RDにて使用不可	
A1S62RD3/A1S62RD4	JPt100(JIS C 1604-1981)	Pt100(JIS C 1604-1989、DIN 43760-1980)	
A1S62RD3N/A1S63RD4N	Pt100(JIS C 1604-1997)、JPt100(JIS C 1604-1981)	Pt100(JIS C 1604-1989、DIN 43760-1980、IEC 751-am2)	

Q64RDで使用可能な白金測温抵抗体に変更が必要